

産業・経済専門委員会 提言書（素案）

【農業振興・商工業振興・観光振興】

～ 提言にあたって ～

私たち「産業・経済専門委員会」では、昨年度市が行った「東御市まちづくりアンケート調査」結果から“市民が求めているものは何か”をはっきりさせた中で、「農業」「商工業」「企業立地」「観光」の4つのカテゴリについて、普段から感じている改善点や、今後こうなってほしいと願う思いを話し合っ、提言テーマ」にまとめてきました。

残念ながら産業・経済分野における「将来のあるべき姿」にまで踏み込んで議論を尽くすことはできませんでしたが、提言にあたっては内容が抽象的にならないように、なるべく具体的な取り組み方を言及して提言させていただきました。

当委員会の提言テーマは7つありますが、全てに共通して「雇用の創出と労働環境の充実」をその根底に求めています。これは市民アンケートにおいて、すべての年代層が“安心して働ける環境”を求めている声があることを重く受け止めたことに外なりません。

安心して働くことができ、未来に希望をもって生活ができる東御市になってほしい、そんな願いを当委員会では提言の柱としていることをご理解いただき、新しい総合計画では当委員会の提言が活かされますよう、心より期待しています。

部会長 佐藤 正彦

【産業・経済専門委員会名簿】

佐藤 正彦	小山 貞光	宮崎 隆志
竹内 爾恵子	笹平 千賀子	寺島 尊 (東御市 農林課長)
横井 憲一	永井 忠	山崎 廣男 (東御市 商工観光課長)
峯村 文博	小山 濟	
荒井 加代子	唐沢 智明	

(順不同)

【提言テーマとその具体的な方策】**【農業分野】****1、全国に発信できる東御ブランドを確立する**

- ①都市圏流通を拡大させるための「東御ブランド」認定制度をつくる
- ②地産地消の拡大のために食材提供ネットワークをつくる
- ③「東御レシピ」をつくり東御市版クックパッドで全国発信する

2、豊かな農村環境を支える中山間地農業を市民力で維持する

- ①中山間地域の小規模耕地は「市民農園」とし、市民へ賃貸する仕組みをつくる
- ②首都圏の学生などの「日帰り農業体験」の受入れを進める
- ③クラインガルデン（長期滞在型農業宿泊設備）をつくる
- ④中山間地「市民農園」制度を維持するための助成制度をつくる

3、担い手農業者を支援して確かな農業をつくる

- ①米の市内販売の促進と大田区市場での優先販売
- ②広域的な農作業互助制度をつくる
- ③農業者の肩身が狭くならないよう、土地の利用協定制度をつくる
- ④海外向け果樹の品種改良と果樹加工の研究

【商工業分野】**4、商店街に市民の憩いの場を設けて賑わいとふれあいを呼ぶ**

- ①田中商店街に「まちなか広場」を開設し市民交流を促進する
- ②ゆうふる田中の屋外空きスペースを利用した「楽市マーケット」を定期開催する

5、地域特性を活かせる新生活産業などを誘致して雇用を拡げる

- ①新生活産業（子育て、福祉、健康分野）の誘致を進める
- ②産・学・官による新産業（バイオ・医療技術・IT・航空宇宙産業など）の研究
- ③公社造成地の条件付き無償贈与策による企業誘致
- ④食品加工（巨峰・くるみ）ができる産業観光企業の誘致

【観光分野】**6、観光資源を活用しておもてなしを実現する**

- ①観光ガイド・ボランティア制度をつくる
- ②海野宿の観光拠点化によって誘客を促進する

7、情報発信ステーションをつくり都市圏との交流を拡大させる

- ①東御市の魅力を伝える情報発信基地をつくる

＜提言テーマ説明資料＞

【テーマ1】

全国に発信できる東御ブランドを確立する

【提言の主旨】

東御市は、日当たりが良く雨が少ないという恵まれた気象条件のもと、他に引けを取らない優れた農作物が豊富にあります。それにもかかわらず、農業者人口は高齢化し、担い手不足などによって農地の遊休荒廃地化が市域全体に広がり、生産基盤は弱くなってきている現実があります。

生産基盤を守り、自信をもって農業を営むためには、“他よりも優れている”市特有の農作物を、市民みんなで消費することはもちろん、来訪客や都市圏への流通ルートに乗せて消費を増大させていくことが何よりも必要です。

「東御ブランド」を確立し、効果的な情報発信を進めることは、観光誘客にもつながり、やがては交流人口を増やし、地域全体が活性化する大きな力となってくるものと考えます。

【具体的な方策】

① 都市圏流通を拡大させるための「東御ブランド」認定制度をつくる

…東御市産の農畜産物の消費拡大のため、一定基準に基づく「東御ブランド」認定制度をつくり、東御市農畜産物の優位性をアピールしていきます。

＜行政の役割＞

- ・農畜産物の消費拡大を通じた都市交流事業を進めるため、農業振興公社の設立を検討する。
※ 農業振興公社の設立が困難な場合は、本件を実行する実施組織をつくる。
- ・東御市の特産品に一定の品質基準を定める「東御ブランド」認定制度を設ける。
- ・PR用キャラクターと東御ブランドシールを開発する。
- ・大田区にアンテナショップを確保する。

＜事業者（生産者）の役割＞

- ・振興公社が中心となって、大田区アンテナショップの運営又は販売協力店を確保し、農畜産物消費拡大のためのセールスを進める。

＜市民の役割＞

- ・PR用キャラクターと東御ブランドシールのデザインを考える。
- ・情報通信媒体を通じて東御市の農産物を全国へPRする。

② 地産地消の拡大のために食材提供ネットワークをつくる

…小規模農業者が中心となって安全・安心食材を学校、市内小売店、飲食店に供給していく「食材提供ネットワーク」制度をつくります。また、一定の基準によって農畜産物を取り扱う市内の小売店、飲食店には、「東御ブランド」推進店の称号制度をつくり、地産地消を進めます。

<行政の役割>

- ・東御市農業振興公社の設立を検討し、需給を調整する「地産地消流通システム」を構築する。

※ 農業振興公社の設立が困難な場合は、本件を実行する実施組織をつくる。

- ・「東御ブランド」推進店には、公式ホームページやパンフレット等、様々な情報媒体を通じ、無料で店の紹介や宣伝をする。
- ・ジビエの独自流通体系（狩猟者→食肉→小売店）をつくる。

<事業者（生産者）の役割>

- ・東御市農業振興公社は、消費者たる学校・地域小売店・飲食店の需要を把握して需要と供給を調整し、「地産地消流通システム」を運用する。

<市民の役割>

- ・「東御ブランド」を積極的に消費する。
- ・情報通信媒体を通じて東御ブランドを全国へPRする。

③ 「東御レシピ」をつくり、東御市版クックパッドで全国発信する

…「東御ブランド」を使った独自のレシピをインターネット回線を通じて内外に発信する仕組みをつくり、東御産食材の購入意欲を高めます。

<行政の役割>

- ・東御市農業振興公社の設立を検討する。

※ 農業振興公社の設立が困難な場合は、本件を実行するための実施組織をつくる。

<事業者の役割>

- ・農業振興公社では、東御市版クックパッドをインターネット上に構築するとともに、商品お取り寄せ情報も掲載し、ネット販売を進める。
- ・市民から集まったレシピで「東御レシピ本」を作り、行政施設、観光施設、飲食店、商店などに無料配布する。
- ・インターネットを使えない世代（人）からもレシピを収集する仕組みをつくる。
- ・料理教室を開催する。

<市民の役割>

- ・「東御ブランド」を使った「東御レシピ」を東御市版クックパッドへ書き込み紹介します。
- ・「東御ブランド」を使った昔ながらの料理を若い世代に伝えていく。
- ・料理教室の講師役を務める。

【テーマ2】

豊かな農村環境を支える中山間地農業を市民力で維持する

【提言の主旨】

東御市の「自然と調和した豊かな農村環境」が、内外ともに高く評価されている背景には、圃場すら整備されていない中山間地域の耕作地で農業を維持してきた先人たちのたゆまぬ努力があったからに外なりません。これ継承していくことは何よりも大切ですが、条件が悪い山間部の小さな耕作地は流動化の対象すらなりません。これでは農地は荒廃し、やがて山林に戻ってしまうことが明らかです。農村景観の維持は、今や全市民的な問題であります。市民力を結集して豊かな農村景観を守るとりくみが必要であると考えます。

【具体的な方策】

① 中山間地域の小規模耕地は「市民農園」とし、市民へ賃貸する制度をつくる

…農地の流動化が進まない小規模で耕地については、“農にふれ農村環境を守ろう”を合言葉に、市民農園制度を設け市民への無償の貸出しを進めます。

＜行政の役割＞

- ・市民農園登録制度をつくる。
- ・市民農園利用マップを作成し、内外に情報提供する。

＜市民の役割＞

○借り手側

- ・農作物を自らでつくることに関心を持ち、積極的に家庭菜園を行う。

○貸し手側

- ・作物づくりのアドバイスや、農機具の貸与、圃場の見守りを行う。

② 首都圏の学生などの「日帰り農業体験」の受入れを進める

…旧武石村でやっている「信州せいしゅん村」の東御市版をつくり、都会の若者との交流を通じて中山間地農業の活性化を図ります。

＜行政の役割＞

- ・公式ホームページやパンフレット等、様々な情報媒体を通じ、国内外に事業を発信する
- ・東御市版信州せいしゅん村の仕組みを構築する

＜事業者の役割＞

- ・振興公社、観光協会も参画し、各種学校等に営業する

＜市民の役割＞

- ・都会の若者を受け入れる

③ クラインガルデン（長期滞在型農業宿泊設備）をつくる

…市民農園に併せ、都市生活者との交流を図って農地を維持する仕組みをつくります。

＜行政の役割＞

- ・都市生活者の長期滞在ニーズを把握し、調査研究する
- ・東御市の自然環境をPRする。

④ 中山間地「市民農園」制度を維持するために助成制度をつくる

…市民農園の貸し手側には、農村環境の保全に貢献している観点から、基準を設けて助成金を交付していきます。

＜行政の役割＞

- ・助成金制度の創設

【テーマ3】

担い手農業者を支援して確かな農業をつくる

【提言の主旨】

東御市の農業は、ワイン特区など、まだまだ伸びる可能性もあり、新規就農者も無い訳ではありません。担い手農家を支援していく農地の流動化や基盤整備といった国、県、市の既設「農業対策」は当然進めることが前提ですが、TPPをむしろ飛躍のチャンスとして確固たる農業経営に結びつく“次なる一手”の仕組みをつくっていく必要があると考えます。

【具体的な方策】**① 米の市内販売の促進と大田区市場での優先販売**

…東御市の農業を支える主要品目は米であり、担い手農家の多くが高品質の米をつくる農家です。この高品質の米を「東御ブランド」米として新しい流通体系に乗せて販売し、高付加価値というよりはむしろ、ネームバリューを活かし選択される商品として販売していきます。

＜行政の役割＞

- ・「東御ブランド」米を市内外に流通させるための制度設計をする
- ・大田区と交渉し販売協定を結ぶための道筋をつくる

＜事業者の役割＞

- ・「東御ブランド」米を、小売店やインターネットで販売する

- ・大田区での販売に向けた折衝を進め、「東御ブランド」米の流通ルートを確立する
- <市民（生産者）の役割>
- ・品質の高い「東御ブランド」米を生産する

② 広域的な農作業互助制度をつくる

…東御市と周辺市町村が互いに農繁期に助け合えるよう、農業人材の互助制度をつくりま

- <行政の役割>
- ・広域的農作業互助制度をつくる
 - ・農業者へPRする
- <市民の役割>
- ・農業者は積極的に互助制度に参加する

③ 農業者の肩身が狭くならないよう、土地の利用協定制

…土地利用計画では明確なエリア分けが難しいため、宅地と農地の混在地では、行政がルールを定め、農家と非農家が話し合っ

- <行政の役割>
- ・農地の虫食い状態を防ぐため、優良農地の保全という観点から、農地と宅地の混在地域には土地利用協定の制度をつくる
 - ・農地転用の際は、協定ルールを遵守させる
- <地域の役割>
- ・秩序ある土地利用が地域振興につながることを念頭に、協定ルール制度に協力していく
- <市民の役割>
- ・協定ルールを守る

④ 海外向け果樹の品種改良と果樹加工の研究

…東御市の主力製品であるブドウ、リンゴ、クルミなどの果樹の海外展開を視野に、品種改良や加工を研究します。

- <行政の役割>
- ・果樹試験場、信州大と提携し、海外競争力のある農作物の研究を進める

【提言テーマ4】

商店街に市民の憩いの場を設けて賑わいとふれあいを呼ぶ

【提言の主旨】

東御市の玄関口である田中駅や中心市街地にあたる田中商店街には賑わいが感じられません。商店街に求める市民ニーズが、すでに買い物欲求では無い時代を迎えていることを考えると、往時の賑わいを「商業」だけで復活させていくことは難しいように考えます。新たな魅力をプラスして、市民交流のできる新しい商店街をつくっていく必要があると考えます。

【具体的な方策】

① 田中商店街に「まちなか広場」を開設し、市民交流を促進する

…商店街の空き店舗等のスペースに、誰もが気軽に立ち寄れる市民の憩いの場をつくります。市民情報ステーションとしての機能も加えていきます。

＜行政の役割＞

- ・「まちなか広場」の施設を確保する。
- ・市の情報やイベント情報、生活情報を提供する。
- ・デマンド交通の駅に指定する。

＜事業者の役割＞

- ・「まちなか広場」の施設管理を行う（商店街組合）

＜市民の役割＞

- ・「まちなか広場」を利用する
- ・フリーマーケットや野菜直売など、いろんな企画を「まちなか広場」に提案する。

② ゆうふる田中の屋外空きスペースを利用した「楽市マーケット」を定期開催する

…ゆうふる田中は、駅に隣接した格好の場所に位置していますから、駅の利用者が気軽に立ち寄れる、魅力あるイベントを定期的で開催していきます。

＜行政の役割＞

- ・毎月13日を「とうみ楽市マーケット」の日に指定し、内外に宣伝する。

＜事業者の役割＞

- ・ゆうふる田中の屋外スペースを「とうみ楽市マーケット」として市民へ無償で場所を提供する。（振興公社）
- ・夏場にはビアガーデンを企画して、「とうみ楽市マーケット」の誘客を応援する。

＜市民の役割＞

- ・フリーマーケットや農産物等を持ち寄って直売を行う。

【提言テーマ5】

地域特性を活かせる新産業などを誘致して雇用を拡げる

【提言の主旨】

東御市の企業誘致に関しては、今まで製造業を中心に取り組みがなされてきていますが、長引く景気低迷の中で誘致は進んでいないのが現実です。そのため製造業というよりはむしろ、福祉や健康産業といった新産業に目を向けていくことや、条件付きの企業誘致、特産品加工産業の誘致が必要であると考えます。

【具体的な方策】

① 新生活産業（子育て、福祉、健康分野）の誘致を進める

…東御市は、心休まる豊かな自然環境が備わっていることに加え、都心から近いという好条件を有しています。そのため、都市部で不足している介護施設や健康保養施設を誘致します。

＜行政の役割＞

- ・子育て、介護、健康などの新生活産業の誘致を進める。
- ・自然環境と都心からも近い利点をPRする。

＜市民の役割＞

- ・新生活産業を理解する。
- ・雇用機会を逃さないようにする。

② 産・学・官による新産業（バイオ・医療技術・IT・航空宇宙産業など）の研究

…今までの東御市には、学術研究機関がほとんどないため、長野県や信州大学、企業と連携する産・学・官の共同研究を進め、新産業を創出します。

＜行政の役割＞

- ・研究機関を設置する
- ・企業退職者、技術者に広く呼び掛け、研究機関に参加していただく

＜事業者の役割＞

- ・学術研究機関は、研究を通じて新産業を創出する

③ 公社造成地の条件付き無償贈与策による誘致

…企業や工場の誘致手段として、一定条件を承諾する企業へ無償で土地を贈与します。

＜行政の役割＞

- ・土地開発公社造成地の無償贈与する

＜事業者の役割＞

- ・社屋の建設は東御市内業者に限定する
- ・採用は東御市民を優先する
- ・採用者につき、将来は正職員を確約する

④ 食品加工（巨峰・くるみ）ができる産業観光企業の誘致

…②同様の条件のもと、市の特産品である巨峰やくるみの加工ができ、かつ観光側面として訪れる人が味わい、楽しめる空間を兼ね備えた、伊那市の「かんでんパパ」のような産業観光企業を誘致する。

【提言テーマ6】

観光資源を活用しておもてなしを実現する

【提言の主旨】

観光拠点としての海野宿、湯の丸高原は市内外に定着していますが、訪れる人たちへの心遣いに欠けているところがあるように感じています。“おもてなし”の心といったソフト面を充実させるため、独自に観光ガイド・ボランティアを養成する仕組みをつくっていく必要があると考えます。

【具体的な方策】

① 観光ガイド・ボランティア制度をつくる

…“おもてなし”実現のために、観光地のからの要請に応える東御市独自の有償観光ガイド・ボランティアを養成します。

＜行政の役割＞

- ・観光ボランティア講座を開設し認定制度をつくる。
- ・市民観光ガイド登録制度をつくる。

＜事業者の役割＞

- ・東御市観光協会では、市民観光ガイドの養成・認定を進めるとともに、需要と供給を把握し、市民観光ガイド登録制度を運用する。
- ・観光事業者は、市民ガイドの活用を積極的に進める。

＜市民の役割＞

- ・郷土の歴史、自然に興味のある市民は積極的に市民観光ガイド養成講座に参加する。

② 海野宿の観光拠点化によって誘客を促進する

…知名度のある海野宿をメインに、ワイナリー、湯の丸高原を観光スポットに誘客を図ります。

<行政の役割>

- ・海野宿の車両通行規制の実現
- ・海野宿に近い千曲川沿いに散策路を設ける
- ・駐車場を増設する
- ・海野宿入口に景観に配慮した関所風の門を整備し、写真スポットにする

<事業者の役割>

- ・地元組合は、特産品を販売する古風な店構えの店舗を増やす
- ・観光協会は、海野宿観光ツアーの企画を観光会社などに働きかける
- ・観光協会は、田中駅から海野宿まで、わかりやすい標識を設置する。
- ・白鳥神社の一角をお借りして、無料で観光客をもてなすお休み処を設置する。

<市民の役割>

- ・郷土の歴史、自然に興味のある市民は積極的に市民観光ガイド養成講座に参加する。
- ・観光ガイド登録しておもてなしに参加する。
- ・市の観光の魅力を情報通信媒体などを通じて全国へPRする。

【提言テーマ7】**情報発信ステーションをつくり都市圏との交流を拡大させる****【提言の主旨】**

農業、商工業、観光にすべて共通して言える点は「情報発信なくして発展はなし」にあると考えます。現状、東御市と聞いてもピンとくる人は少ないと感じています。東御市の魅力を外へ売り込み知名度を上げ、他とは違う魅力を発信していかなければ、定住促進、来訪・交流促進、ビジネス促進にはつながっていかないと考えます。

【具体的な方策】**① 東御市の魅力を伝える情報発信基地をつくる**

…ホームページでは魅力を伝えることに限界があるため、来訪者に直接説明できる“とうみの魅力発信”窓口を設置します。

<行政の役割>

- ・市全体の魅力をトータルに発信できる担当窓口をつくる。

- ・あらゆる情報通信媒体の活用を研究する。
- ・観光も請け負う農業振興公社の設置を検討する

<事業者の役割>

- ・観光協会は、道の駅などの観光拠点に常駐し、観光のみならず特産物のPRなども発信できるようにする。
- ・大田区アンテナショップの運営、東御ブランドの紹介にも観光協会が関わっていく。